多施設共同研究用
（2021.1 改訂）

作成日：西暦 2025 年 7 月 7 日　第 2.0 版

～下記の研究を行います～

『StageIV 大腸癌に対する外科手術の治療成績に関する後方視的検討』

【研究の主宰機関】大阪大学大学院
【研究代表者】植村 守
【研究の目的】同時性遠隔転移を伴う Stage IV のうち根治切除を施行した患者さんにおいて、外科手術の治療成績を検討するものである。患者基本情報（性別、生年月日等）、原発巣総合情報、原発巣病理情報、転移巣総合情報、転移巣病理情報、施設基本情報などを収集し、外科手術の短期成績、および無再発生存期間および全生存期間に関わる因子の同定を行う。
【研究の期間】研究許可日～2028 年 3 月 31 日
【研究の方法】
●対象となる患者さん
2008 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに、当院において同時性遠隔転移を伴う cStage IV 大腸癌に対して根治切除術を施行した方

●利用する試料・情報の種類
試料：なし

情報：診療録から以下の情報を収集します。
　　性別、生年月日（日はすべて「1 日」とする）、BMI、既往歴、手術方法、化学療法等

●外部への情報等の提供
　データセンター（大阪大学消化器外科共同研究会）への情報等の提供は、患者さんを特定する情報（氏名等）は記載せず登録番号に置きかえ、電子媒体で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さんと登録番号を結びつける表は、当院の研究責任者が保管・管理します。なお、個人情報提供についての当院における管理責任者は、国立病院機構大阪医療センター院長　松村　泰志になります。

●研究組織
　研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者
　3 ページ目参照
【研究の資金源】
　　大腸疾患分科会の資金
【利益相反】

臨床研究における利益相反（ＣＯＩ(シーオーアイ)：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者
国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂 2 丁目 1-14
TEL（06）6942-1331（代）
外科　医師　高橋　佑典

研究代表者
大阪大学大学院医学系研究科
〒565-0871 吹田市山田丘 2-2 Ｅ21-19
TEL（06）6879-3251
外科学講座消化器外科　植村　守

共同研究機関と研究責任医師一覧　20241220

1. 大阪大学医学部附属病院　植村　守
2. JCHO 大阪病院　井出　義人
3. 大阪警察病院　高橋　秀和
4. 大阪労災病院　鄭　充善
5. 関西ろうさい病院　畑　泰司
6. 紀南病院　小林　雄太
7. 近畿中央病院　真貝　竜史
8. 国立病院機構大阪医療センター　高橋　佑典
9. 市立伊丹病院　森田　俊治
10. 市立吹田市民病院　岡村　修
11. 市立豊中病院　池永　雅一
12. 西宮市立中央病院　大西　直
13. 兵庫県立西宮病院　小森　孝通
14. 大阪急性期・総合医療センター　井上　彬
15. 大阪国際がんセンター　安井　昌義
16. 箕面市立病院　團野 克樹
17. 八尾市立病院　吉岡　慎一

なお, 上記以外の施設においても, 各施設内の倫理審査委員会での承認を経て参加可能とする.